

- ①エントリーの際、必ずダウンロードした健康チェックシートに必要事項を記入の上、提出すること。  
37.5℃以上の発熱・咳などの症状がみられる場合、出場は出来ない。なおチェックシートは試合日ごと、毎回提出すること。また予選本戦に関係なく、大会各日の受付の時に検温を行うこと。
- ②試合は無観客とする。したがって会場内に入れるのは、顧問・教職員(各校2名まで)と選手とする。  
本戦会場ではエントリーの際選手と顧問にIDタグを渡すので、顧問・教職員は会場にいる間は必ず身につけること。選手は試合中以外では身につけること。
- ③プレー中以外は、必ずソーシャルディスタンスを遵守しマスクを着用すること。なお自身が着用しているマスクについては、使用時以外はビニール袋に入れるなど、管理を確実にすること。
- ④各試合では審判を付けずに、セルフジャッジで行う。スコアボードを使用する際は、ボードのそばに消毒液の用意をし、エンドチェンジの際にドロ番号の小さい選手が両者の得点を入れ、その都度消毒液で消毒すること。なおスコアボードの有る無しに関係なく、ポイントやゲーム数を確認するために、必ずサーバーはサーブの前にポイントコールを行い、互いに確認すること。
- ⑤試合の前後には必ず手指の消毒を行うこと。
- ⑥オーダーオブプレーは、本部役員のみ動かすことになるので、選手は触らないこと。
- ⑦選手同士でボールをやり取りする際、ラケットを使用するなどして、なるべく直接ボールに触れないようにすること。エンドチェンジの際は、ベースライン付近にボールを置くなどすること。
- ⑧ダブルスの試合に際して、ペア同士で接近してのコミュニケーション・ハイタッチなどの行為は禁止する。ベンチでの休憩の際も、適切な距離を取ること。
- ⑨試合終了後の握手は禁止する。終了後互いにネットから1m離れて、礼をすること。これを終了の合図とみなす。
- ⑩その日の試合が終了したら、速やかに帰宅すること。他の選手の試合観戦などは、原則として行わないこと。また顧問などからの試合後のアドバイス行為も、出来る限り後日等に行うこと。
- ⑪屋内の施設内では休憩は認めるが、飲食は禁止とする。休憩の際もソーシャルディスタンスの遵守・マスク着用などを行うこと。また更衣室の使用については、各会場の指示に従うこと。多人数での使用を避けるためにも、使用する前に大会本部に許可を求めること。
- ⑫急な天候の悪化による屋内待機は「密集」となってしまうので、原則として屋外待機とする。よって各自で雨具等を用意してくること。
- ⑬手指の消毒のためのアルコールなどは本部で用意をするが、出来る限り各自でも用意をしていくこと。